

園のリーダーのために

保育ナビ

2022
OCTOBER
〈7/12〉

10



特集

持続可能な園になるために
みんなのでつくる
ハラスメントの
ない職場

園のかたち2022

動物と暮らし、命を感じる

倉橋惣三が描く子どもにふれる
涼しい顔

基礎研究から学ぶ赤ちゃん学
はなす
言語発達の土台となる
赤ちゃん期

Hoiku
navigation

巻頭

フレールベルのこぼば 汐見稔幸 小西貴士

スペシャル対談

主 自由の相互承認を育む

保育・教育システムの再構築を …… 4

苦野一徳 (哲学者・教育学者)
井桁容子 (乳幼児教育実践研究者)

特集

園 持続可能な園になるために

みんなのでつくる

ハラスメントのない職場

…… 10

木元有香 桑戸真一

保育悩みのタネ …… 20

矢藤誠慈郎

保育ナビらじお …… 22

大豆生田啓友 小西貴士

私の園の自慢の給食 …… 23

社会福祉法人ヴァンヴェール会
認定こども園 深沢ガーデン

遊びが育つ保育 …… 24

保育者が提案するクラス活動と遊び

田代幸代

主 0・1・2歳児の保育のきほん …… 28

〜こころの育ち編〜

井桁容子

園 園のかたち2022 …… 30

さくらいこども園 (大阪府東大阪市)

職員同士の日常会話や園の慣習・環境の中に、パワーハラにつながる危険な芽は隠れていませんか。パワーハラ防止措置がすべての企業で義務化された今、パワーハラとは何か、パワーハラを防ぐ体制づくりについて、改めて考えます。

保育ナビが伝えたいこと

子ども、保護者、職場の同僚や上司、より良い人間関係づくりのヒントに

「保育は人間関係の仕事である」と言われることがあります。確かに、子ども、保護者、職場の上司や同僚など、それぞれの人間関係を抜きにして保育は考えられません。今月は、そんな人間関係にかかわる視点として、特集では「パワーハラ」を、スペシャル対談では「自由の相互承認」を取り上げるほか、人間関係に役立つ視点を盛り込んだ連載があります。ぜひご活用ください。 — 保育ナビ編集部

▶ マークのついているコーナーは毎月、保育ナビ倶楽部メールマガジン(年間購読特典)にて動画のご案内を配信します。ぜひ、ご登録ください!



【今月のおすすめ】

園長・主任・学年リーダーにおすすめのコーナーを選んでマークを表示しています。

園 園長 主 主任 学年リーダー

国の動き

国の動きを読む！
研究者の目2022 …… 34
文部科学省・内閣府編
大方美香

園

地域別 持続可能な
園になるために2022 …… 36
〈オピニオン編〉
榊原智子

園経営

園
コンサルタントが読み解く
新時代の園経営 …… 42
桑戸真二 大嶽広展

保育園 新米園長が、
園長の仕事を考える …… 44
柴田直美

リ

その「前提」は正しいですか？
園内研修で取り組む
園の危機管理 …… 46
脇貴志

人材育成

人材育成
わいわい語り場 …… 48
大豆生田啓友

倉橋惣三が描く
子どもにふれる …… 54
久保健太 溝口義朗

保育内容

共に楽しく！
共に橋を架けよう！
ステップアップ
小学校との接続 …… 58
無藤隆
寶來生志子
中山昌樹

多くの保育者に読み継がれている倉橋惣三の著作から1編を選び、現代の保育実践と照らしながら、倉橋が描いた子どもの姿、目指した保育とその現代的な意義を読み解きます。

リ

基礎研究から学ぶ
赤ちゃん学 …… 60
麦谷綾子

始めよう
子どもの姿ベースの指導計画 …… 62
高嶋景子 大豆生田啓友

実況中継
園内研修のプロセス …… 68
矢藤誠慈郎

歯医者さんが教える！
口の発達と健康 …… 76
藤原康生

巻末

子どもと保育を思う日々から
無藤隆

今月は、リーダーと職員との温度差をどうするか、話し合いを発展させるにはどうすればよいかなど、園内研修が進むにつれて出てくる課題について、園の取り組み事例からヒントを探ります。

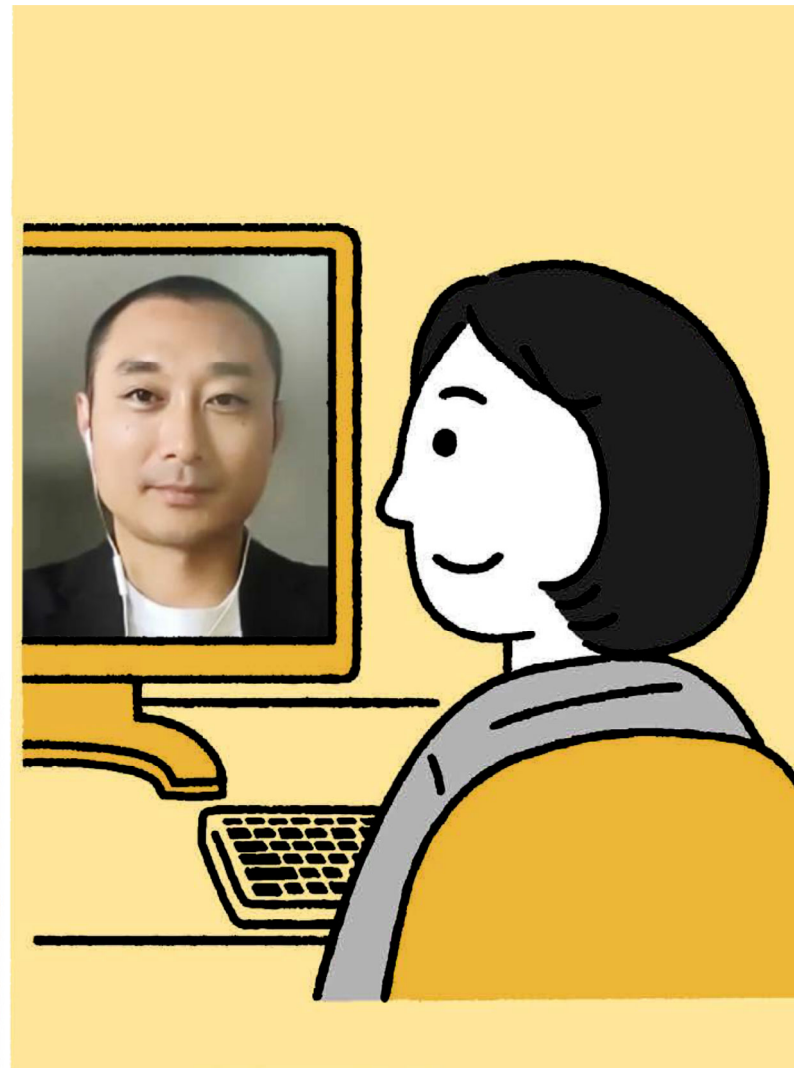
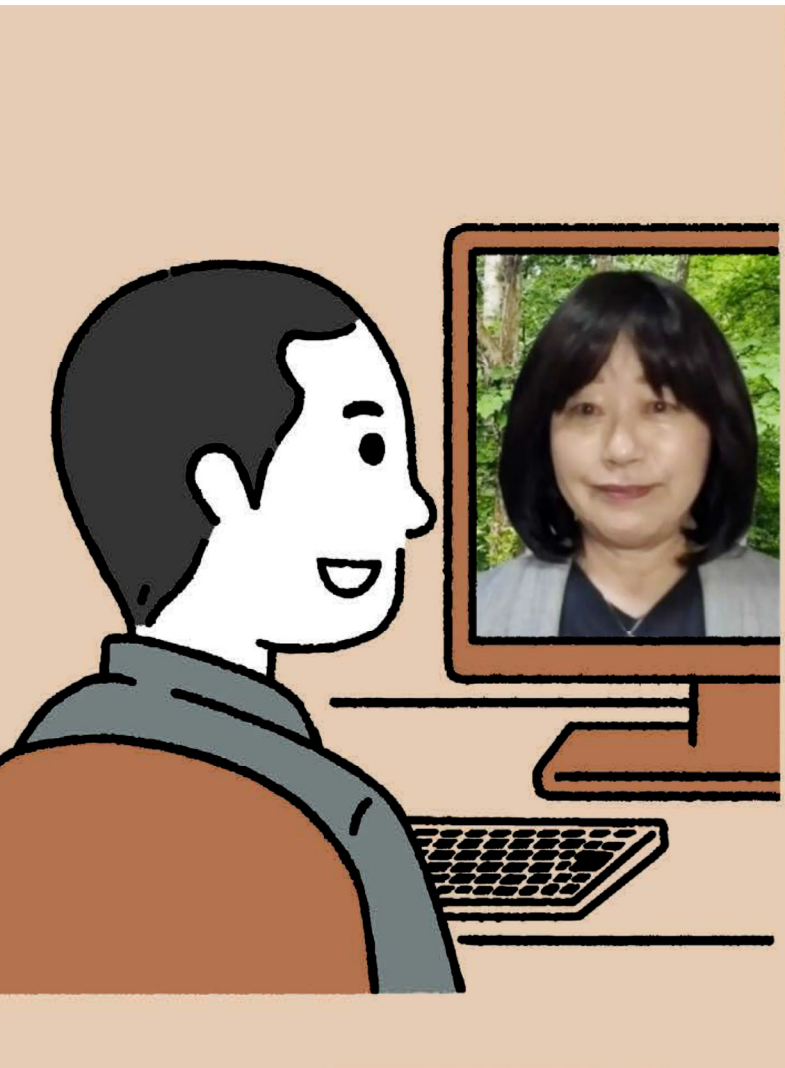
自由の相互承認を育む 保育・教育システムの再構築を

自分と異なる意見や価値観をもつ人を排除したり、傷つけたりする行為が世界中で起こっています。本来、すべての子どもが生きたいように生きられる力を育む教育の中にも、自由を認めず、異質なものを遠ざける種が潜んでいます。現行の教育システムの課題や子どもと向き合う保育者に求められる資質や役割について苦野一徳先生と井桁容子先生が対談しました。

(対談は2022年5月にオンラインで実施)

様々な業界において活躍されている方々をお招きし、じっくりとお話をうかがいます。保育を捉え直す際のきっかけが見つかります。

写真／渡辺 悟 (P4)
イラスト／Yuzuko



聞き手

井桁容子

(いげた ようこ)

乳幼児教育実践研究者。東京家政大学ナースリールームで42年間勤務した後、フリーの乳幼児教育実践研究者として全国で保育者や保護者対象の研修会や講演を行っている。著書に『「ていねいなまなざし」でみる乳幼児保育』（フレーベル館）、『子どもって、みごとな人間だ!』（共著、フレーベル館）など。非営利団体コードモニカ代表理事。

ゲスト

苦野一徳

(とまの いっとく)

哲学者・教育学者。熊本大学大学院教育学研究科准教授。著書に『どのような教育が「よい」教育か』（講談社）、『勉強するのは何のため?』（日本評論社）、『教育の力』（講談社現代新書）、『「自由」はいかに可能か』（NHK出版）、『子どもの頃から哲学者』（大和書房）、『はじめての哲学的思考』（筑摩書房）などがある。

特集

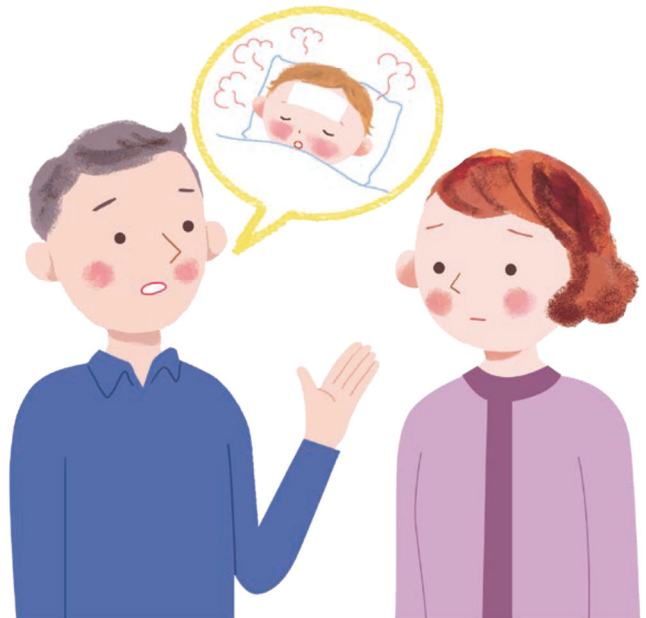
持続可能な園になるために

みんな
で
つくる

ハラスメントの ない職場

今春から、「パワーハラスメント（パワハラ）防止措置（改正 労働施策総合推進法）*」がすべての企業で義務化されました。大企業だけでなく、園の運営においてもパワハラへの取り組みが求められるのです。パワハラとは何か、パワハラを防ぐ体制づくりについて、弁護士の木元有香先生と共に考えてみませんか。

監修・執筆／木元有香（弁護士）



運動会後の職員のお疲れさま会。
パート職員の自分だけ
声がかからず、寂しかった。

パワハラの代表的な言動の類型の中に、人間関係からの切り離し（隔離・仲間外し・無視）があります。また、パートタイム・有期雇用労働法8条では、「不合理な待遇の禁止」が規定されています。職場の慰労会に参加するかしないかはパート職員の自由ですが、主催者である園はお声がけはするようにしてください。



子どもが熱を出したので、看護休暇を
取りたいと言ったら、「奥様は？
あなたが休むの？」と言われた。

上司や同僚からの育児休業等の利用に関する言動により、育児休業等を申出・取得した男女職員の就業環境が害されることを、育児休業等に関するハラスメント*といいます。子の看護休暇を取ることは法律で認められた職員の正当な権利です。正当な権利行使を非難するような言動がなされないように留意し、だれもが心地よく働ける就業環境をつくり上げていきましょう。

*育児・介護休業法第25条

妊娠したことを園長に告げたら
急に担任を外され、
雑務や掃除ばかりになった。

パワハラの代表的な言動の類型の中に、過小な要求（業務上の合理性なく能力や経験とかけ離れた程度の低い仕事を命じることや仕事を与えないこと）があります。また、上司や同僚からの妊娠・出産したことに関する言動により、妊娠・出産した女性職員の就業環境が害されることを妊娠・出産等に関するハラスメント（いわゆるマタハラ）*といいます。園は妊娠した職員への配慮のつもりで一方向的に軽易な業務に転換させたのかもしれませんが、当該職員の希望を聞いた上で適切な業務を割り当てるようにしましょう。

*男女雇用機会均等法第11条の3

イラスト／かまたいくよ

*「パワハラ防止指針」では、職場におけるパワハラの代表的な言動の類型として、①身体的な攻撃、②精神的な攻撃、③人間関係からの切り離し、④過大な要求、⑤過小な要求、⑥個の侵害、の6つに分類していますが、これらに限られるものではありません。



index

国の動き

34

国の動きを読む！ 研究者の目2022
 〈文部科学省・内閣府編〉

こども家庭庁設置法について

36

地域別
 持続可能な園になるために2022
 オピニオン編

コロナ禍で見えた

子育ての孤立と困窮

保育に期待される使命

園経営

42

コンサルタントが読み解く
 新時代の園経営

時代の変化に伴う

「人材開発」投資の考え方

44

保育園 新米園長が、
 園長の仕事を考える

保育の振り返り

46

その「前提」は正しいですか？
 園内研修で取り組む園の危機管理

クレーム対応を学ぶ

人材育成

48

人材育成 わいわい語り場

若手保育者の

本音を聞いてみたら……①

54

倉橋惣三が描く子どもにふれる
 現代の保育実践を通して深める

倉橋のことは

涼しい顔

保育内容

58

共に楽しく！ 共に橋を架けよう！
 ステップアップ 小学校との接続

幼児教育センターと

連携した取り組み〈後編〉

60

基礎研究から学ぶ 赤ちゃん学
 はなす

言語発達の土台となる

赤ちゃん期

始めよう

子どもの姿ベースの指導計画

「自分の言葉」で作る

ことから生まれる

ワクワクする指導計画

68

実況中継

園内研修のプロセス

研修が進むにつれて

出てくる課題

歯医者さんが教える！
 口の発達と健康

唾液のチカラ③

味覚や食塊形成

76

国の動き

園経営

人材育成

保育内容

『保育ナビ』編集部からお知らせ

毎月1名様に
QUOカード(3,000円分)を
プレゼント

Present!

『保育ナビ』へのご意見・ご感想をお寄せください。

『保育ナビ』に関するご意見・ご感想をお待ちしています。応募は巻末のアンケートハガキから!
(10月号の応募締切は10月末消印有効です)

『保育ナビ』の情報をもっと!

『保育ナビ』編集部では、4つのメディアでも保育情報を配信しています。

保育に役立つ情報がつまった
メールマガジン「保育ナビ倶楽部」

[https://www.hoiku-navigation.com/
news/22mail/](https://www.hoiku-navigation.com/news/22mail/)



『保育ナビ』の公式 Facebook

[https://www.facebook.com/
froebelkan.hoikunavi/](https://www.facebook.com/froebelkan.hoikunavi/)



『保育ナビ』の公式 web サイト

<https://www.hoiku-navigation.com/>



『保育ナビ』YouTube チャンネル

[https://www.youtube.com/channel/
UCP4zj6p_z7LQ-G0ecoFY1fQ](https://www.youtube.com/channel/UCP4zj6p_z7LQ-G0ecoFY1fQ)



保育ナビ

『保育ナビ』編集部からお知らせ

保育に役立つ情報が詰まった メールマガジン『保育ナビ倶楽部』

『保育ナビ』年間購読者限定のメールマガジン『保育ナビ倶楽部』
(登録無料)。保育に役立つ情報をメールマガジンでお届けします。

配信情報の一部を紹介

- ★井桁容子先生解説動画 「0・1・2歳児保育」(毎月)
- ★河邊貴子先生執筆 「暮らし」のエッセイ(毎月)
- ★田澤里喜先生執筆 「情報発信力」コラム(毎月)
- ★桑戸真二先生監修 「園経営」コラム(隔月)
- ★フレーベル館の新刊情報やセミナー情報(随時)

会員登録は、こちらから→
<https://www.hoiku-navigation.com/news/22mail/>



3分で
登録
できます

イラスト●すみもとななみ



フレーベル館主催セミナーのご案内

フレーベル館 2022年10・11月開催 保育オンラインセミナー ※14日間の収録配信付き

幼稚園・保育所・認定こども園の保育者様を対象としたLIVE オンラインセミナーをご紹介します。

科学で読み解く子どもの健康

コロナ禍は子どもたちの生活に大きな変化を与えました。近年の子どもたちの健康面での変化を踏まえ、これからの子どもたちの健やかな育ちを支えるために必要なことや、園に求められることについて、科学に基づいたお話をさせていただきます。

LIVE 開催日時：10月11日(火) 13:15～14:30
収録配信：10月25日(火)～11月7日(月) 予定
価格：5,500円(税込)

講師：野井真吾先生
(日本体育大学教授)



こんなときどうする？ 保護者対応

社会全体で子育てを支える時代、保護者対応・保護者支援も複雑化・多様化しています。よりよい関係性を築いていくための関わり方や心構えについて、事例をもとに考えていきましょう。

LIVE 開催日：
10月26日(水) 第1回 保護者対応についての基本
11月2日(水) 第2回 事例をもとに援助のための手法を学ぶ
11月16日(水) 第3回 保護者からのさまざまな相談事例から対応を学ぶ

※開催時間は各回 13:15～14:45 ※各回、開催2週間後より収録配信
※第2・3回はワークショップを含みます

価格：各回 6,600円(税込)
3回まとめてお申込み
19,800円(税込)

講師：汐見和恵先生
(一般社団法人家族・保育デザイン研究所所長)



上記2セミナーを含む15セミナーをお得に受講できます！受付は10月31日(月)まで！

「セミナー受け放題パック 第2弾(2022年10月～2023年2月開催分)」69,300円(税込)

※ウェブ会議サービス Zoom によるオンラインセミナーです(収録配信には動画共有サイト Vimeo を使用します)。

※セミナーの詳細は申込フォームにてご確認ください。 ※よりよい内容のセミナーにするため、一部変更となる可能性があります

申込方法・セミナーの詳細はフレーベル館ホームページからご確認ください。
(右の二次元コードからアクセス、もしくは「フレーベル館 セミナー」で検索してください)

【問い合わせ先】
株式会社フレーベル館 セミナー事務局
メール：seminar@froebel-kan.co.jp
電話：03-5395-6637

